

尿道留置カテーテル使用率

QI 項目の解説

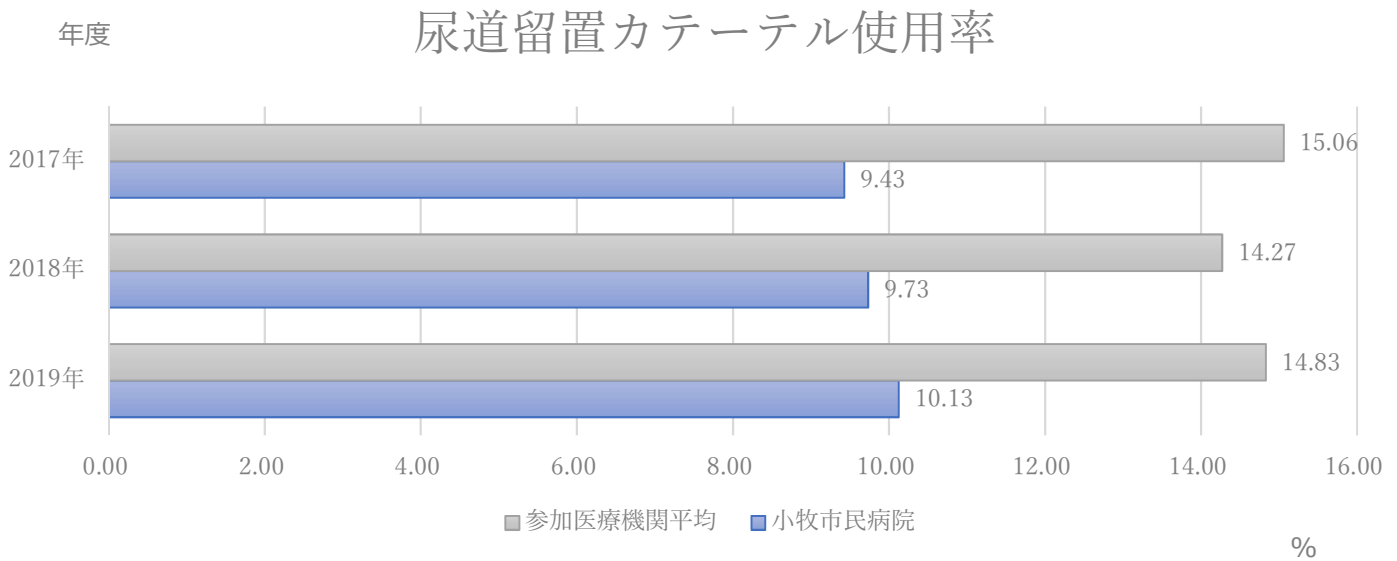
この指標は、カテーテル関連尿路感染症のアウトカム指標を算出目的としています。どのくらいの患者さんに尿道留置カテーテルが使用されているかをみています。より低い値を目指す指標です。

尿道留置カテーテル使用率

QI指標の定義・計測方法

分子： 尿道留置カテーテルが挿入されている入院延べ患者数 $\times 100$ 単位 (%)

分母： 入院延べ患者数



2019 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

尿道留置カテーテル使用率は全施設平均より下回っています。排尿ケアチームの院内啓発と教育により不要な留置を回避するように指導しており、その成果と考えます。

2019当院データと2018当院データとの比較・原因分析

2018年データより微増の傾向が見られる。排尿ケアチームでは部署別の留置状況、留置理由をフォローしているが、泌尿器科手術症例（前立腺癌手術）の増加により絶対的留置適応症例が増加したことが原因と考え、経過観察を行っております。

数値改善に向けた今後の取り組み

例年どおり、サーベイランスによる評価と部署へのフィードバックを行い、目立って使用日数が長い場合については、指導を行います。ウロバックの適切な取扱いを確認し、尿道カテーテル留置の絶対的適応、相対的適応について従来通り周知し、不要なカテーテル留置を早期に抜去することを排尿ケアチームとリンクナースにより徹底いたします。

2018当院データ評価時の改善策の実施状況と評価

評価に問題がないため、サーベイランスのフィードバックのみを行いました。当院では排尿ケアチームの介入により、排尿自立支援を病棟スタッフと包括的に継続しており、改善策としては十分に実施を継続していると評価しております。